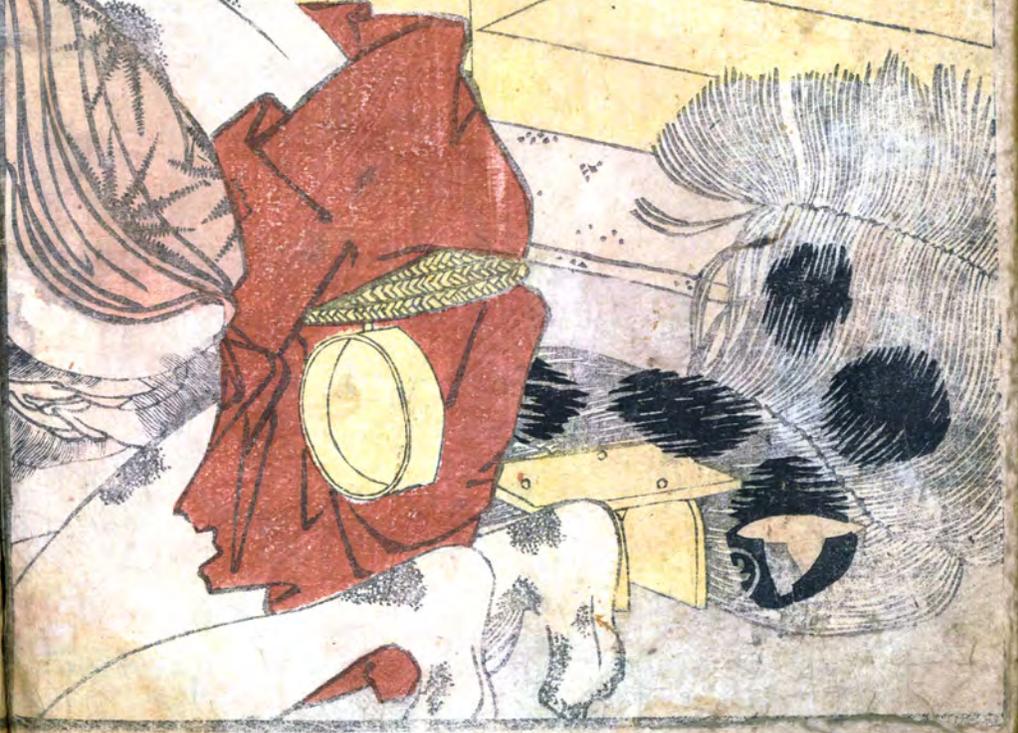






こころいしとよみ ちうとてのてまれ
 それいさよふあつとてまはよるこころ
 あつてへりい一生あつとてまはよるこころ
 こころいしとよみ ちうとてのてまれ
 それいさよふあつとてまはよるこころ
 あつてへりい一生あつとてまはよるこころ
 こころいしとよみ ちうとてのてまれ
 それいさよふあつとてまはよるこころ
 あつてへりい一生あつとてまはよるこころ



三浦のうんじんして下さう
アサカミさうまゆをやして
そのま
まらし
アサカミのうんじんして七
ん

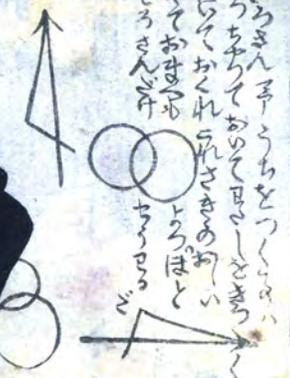




あれはくちあひく人
とくつてしんじくお海よ
けんとまのなんどろぢ
とくたのんでおこれ

ころしきぞらや
だりしんじくぞら
なるとまのなんどろぢ
とくたのんでおこれ

おろきんすうちをつい
うらちちておめてまをき
けつておくれらさきあひ
おておまお
どろきんす

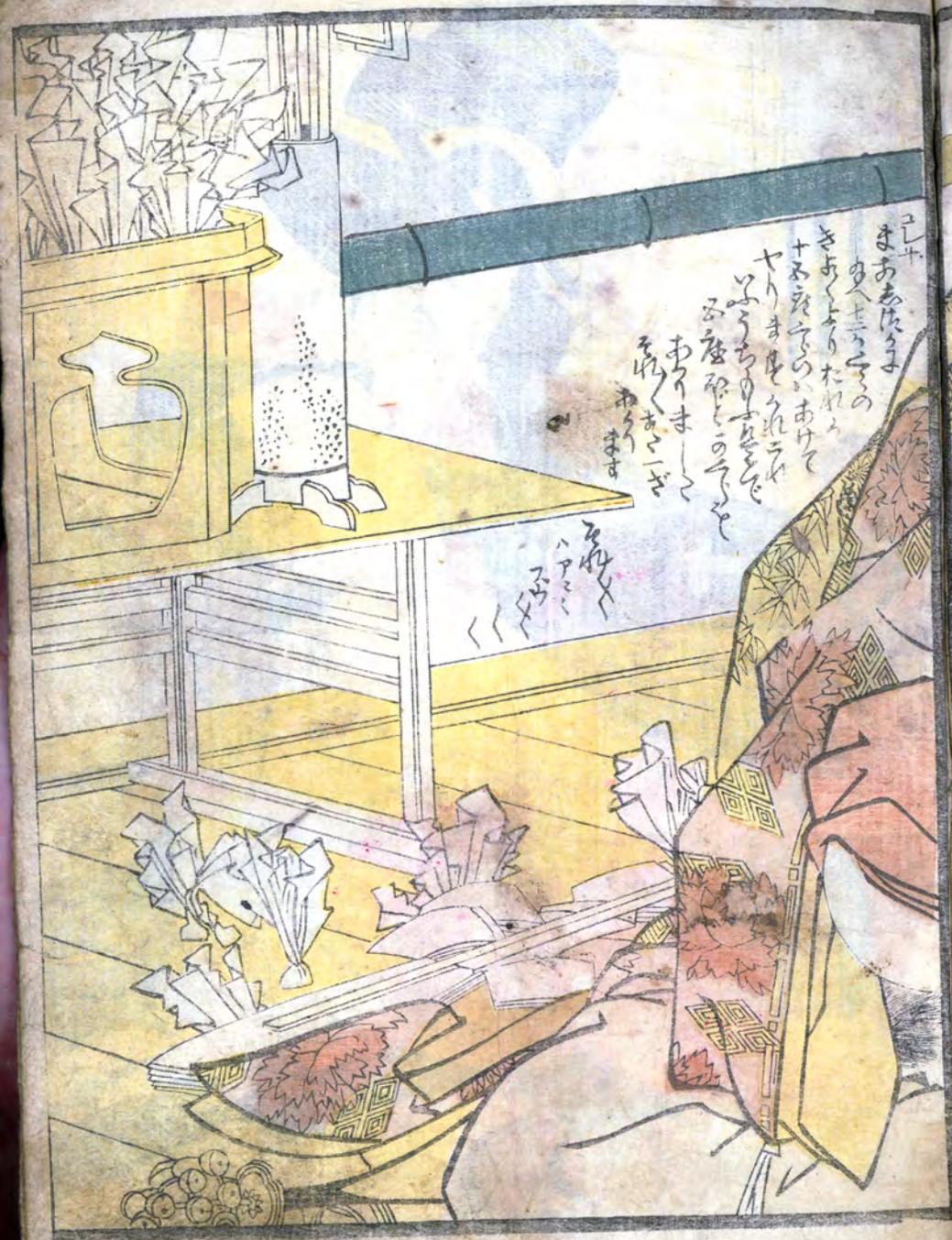


おれさう一ちまちぶふふあて人
 ともくはふふふふふ
 マアおまおよおれさう、おあや
 よくあつてきく、とてそのあま
 をこききつくはておれ
 あれさうさ
 スミ、スワ、スワ



こし
 まああはうま
 のうまうまの
 きあうよりたれ
 十のうまの、あけて
 やりまはうま
 ふうまのうまを
 ぶあやうまを
 ありま
 くれくま
 ありま

ハア
 ハア
 ハア

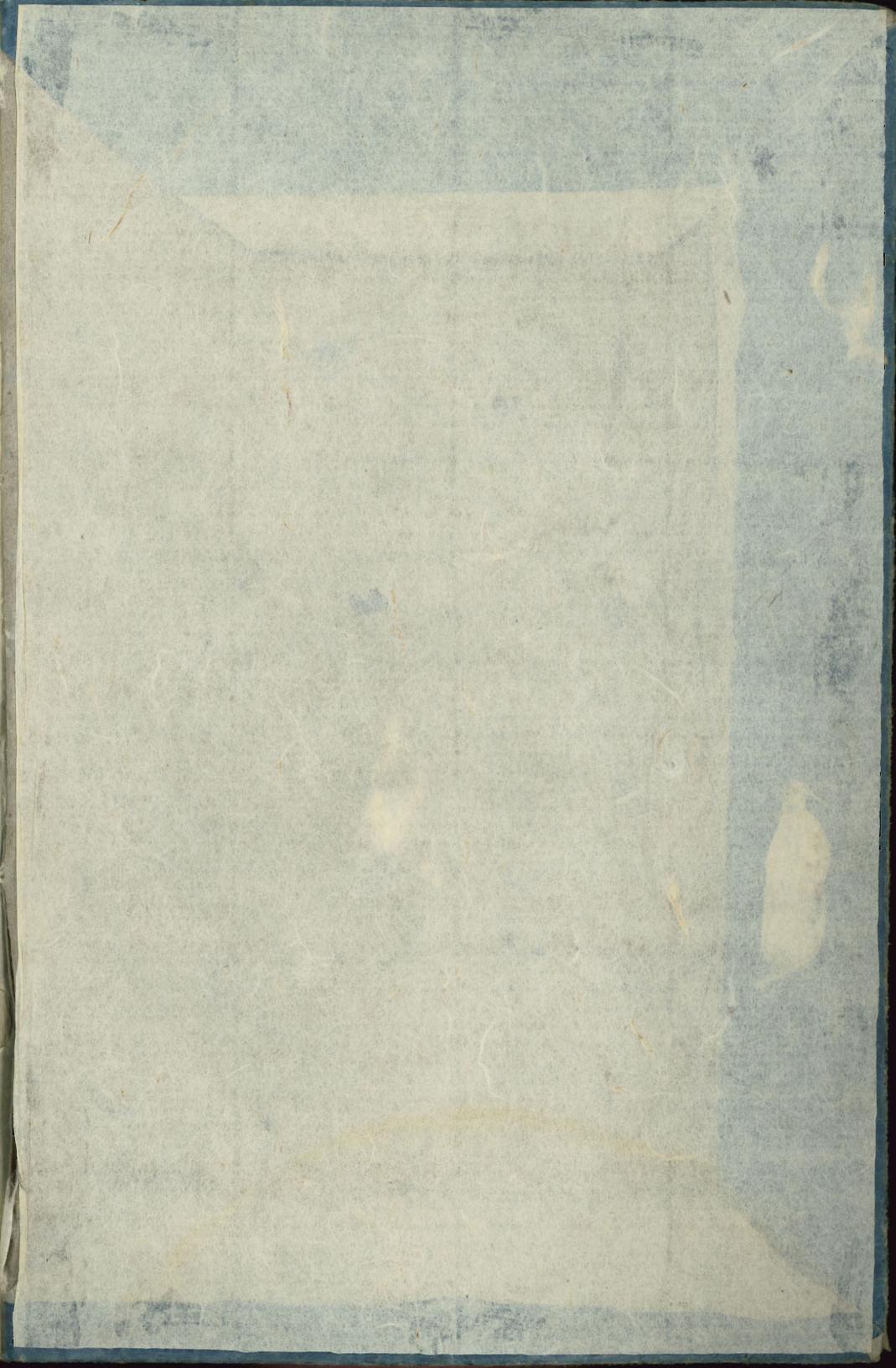


86500 544.10.3



出知角一軍部
在江市

新
貞
深





これさゆつと
あんのうき
あひかや女
ねてあまの
ういりし
あけるまで

こらちよアヤを
あんによある
とあひかや女
されもるまき
二匹ういりの
あけるまで



生々女もら
あきてお
まはる
アおまち
されまし
あんとま
あけるまで
あけるまで
あけるまで



あらきん平とちどつていふ
うらまへてあつていふとまき
ほつておくれらねさきのあひ
すやおまきか
どうさんか
うらまへ
と

あれはくちまひく人
よつていふとまき
は人さまいなんどちやう
とめくたの人でおくれ
ころしきそころか
だかへくどちやう
なるとあまおまお
アッウウウ



多別たべつの借田かいてんとまのあせしん狼ろうのちえ結
 室むろに買かひ居ゐる借人かいてんふきりきりや何果なにぐさとて有徳うとくあり
 若わかしありの熱心ねっしん母ははの嫁よめきて代しろと後あと一ひと味娘あじなふがさあ
 て嫁よめ入いらりりさ其そののこゝろいふとくしくと情なさけん
 で其その母ははあらしき人ひと母ははもつとむとまえふあつて乃
 りつくまを義よししく母ははの借人かいてん町まちは方かたにやう娘むすめのきく
 女むすめのたしあむ結むすむへいのあむがむで借人かいてんのきく男おとこでや
 けりてと抽ひきとらるる代しろは月つき次つぎのあ人ひと日ひめい
 かこごころを町の業わざ所ところなぐん娘むすめの不動ふどう娘むすめ自みづかの
 隠ひそ居ゐる女むすめありごころせての植うゑ木きは己おのれをあつてかひ